学校番号	111

令和２年度　英語科

教科	英語科	科目	英語表現Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「New One World Expressions Ⅱ Revised Edition」（教育出版）						
副教材等	「高校総合英語 Harmony」（いいずな書店） 「高校総合英語 Harmony English Grammar 20 Programs」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生の英語表現Ⅰで習得した文法知識を基盤として、日常生活に応用できるさまざまな表現を身につけます。英語の習得には練習を繰り返すことが必要です。教科書・問題集にしっかり取り組み、高校で身につけるべき英語表現を学んでいきましょう。

２　学習の到達目標（CAN-DO リストによる４技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：「Communication 英語Ⅲ」（3単位）

主な教材：NEW ONE WORLD CommunicationⅢ Revised Edition

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って複数の文で描写することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について決まった表現や形式を用いて尋ねたり答えたりすることができる。	・プレゼンテーション	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの、嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	・ライティング課題 ・定期考査	・決まった表現でゆっくりはっきり発話される天候、時間、物の値段など、日常的な事柄について内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり発話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。	・リスニングテスト	・決まった表現でゆっくりはっきり発話される天候、時間、物の値段など、日常的な事柄について内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり発話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。	・定期考査

３　学習評価(評価規準と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	基本的な英文法事項を使った英文を自主的に発表できるかどうかをみる。	基本的な英文法事項を使って英文を書かせる。	基本的な英文法事項を日本語に訳させる。	日本語と英語の文構成の違いが理解できているかを並べ替え等のテストでみる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Program 1～2 （4時間）	・Would You Do Me a Favor? ・Why Don't You Come and See Me?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いて自分の考えをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○数学のノートを貸してほしいというメールを、理由をそえて書くことができる。 ○指定された状況で、助言・忠告を考え、英語で表現することができる。	○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いて自分の考えを書く。	○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いて自分の考えを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○相手の依頼・許可・断りを理解できる。 ○相手の助言・忠告を理解できる。	○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いた友だちの文を理解する。	○依頼・許可・断り、助言・忠告を示す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○助動詞や仮定法を用いた婉曲表現を理解する。	○助動詞や仮定法を用いた婉曲表現を知る	○助動詞や仮定法を用いた婉曲表現を理解することができる。	○語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program 3～4 （4時間）	・This Is to Let You Know ・Because He Can Relax with Her	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いて自分の考えをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○図書館の開館時間についての苦情を、生徒会長に伝えるメールを書くことができる。 ○自分がインターンシップの場所を選んだ理由を書くことができる。	○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いて自分の考えを書く。	○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いて自分の考えを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○相手の苦情・謝罪を理解できる。 ○相手の原因・理由・根拠を理解できる。	○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いた友だちの文を理解する。	○苦情・謝罪、原因・理由・根拠を示す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○苦情・謝罪を表す定型表現や原因・理由・根拠を表す前置詞などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program５、 Paragraph Writing 1 （5時間）	・This Tablet Is Designed for Overseas Use	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○目的を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。 ○パラグラフの役割に関心を持つ。	○目的を表す表現を用いて、自分の身の回りのことをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。

	・Recommending Places to Visit	「外国語表現の能力」			
		○自分はなぜ英語を勉強するのか、自分自身の目的を書くことができる。 ○海外の友人が自分の住んでいる街を訪ねてくるときの過ごし方を提案するために、内容マップ、フローチャートを作成し、メールを書くことができる。	○目的を表す表現を用いて、自分の将来のことを書く。	○目的を表す表現を用いて、自分の将来を書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○相手の目的を理解できる。	○目的を表す表現を用いた友だちの文を理解する。	○目的を表す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○目的を表す表現などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program 6～7 (4時間)	・Congratulations! ・What Would You Like to Be in the Future?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いて、自分の気持ちをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○テニス大会で優勝した友達に，お祝いのメールを書くことができる。 ○自分の将来の夢と，その夢を実現するためにするべきことを書くことができる。	○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いて、自分の気持ちを書く。	○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いて、自分のことを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○相手の祝福・喜び・感謝について英語で理解できる。 ○相手の希望・期待について英語で理解できる。	○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いた友だちの文を理解する。	○祝福・喜び・感謝、希望・期待を表す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○祝福・喜びを表す定型表現や希望・期待を表す表現などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program 8～9 (4時間)	・What Are You Going to Do Next Weekend? ・I'm Not Sure, But It's True…	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いて、自分の予定をペアで伝え合う。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いて、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○自分の学校の来月の行事予定と自分自身の計画を書くことができる。 ○天気に関するイラストの内容を英語で書くことができる。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いて、自分のことを書く。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いて、自分のことを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		○相手の予定・意図、推察・確信を英語で理解することができる。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いた友だちの予定を理解する。	○予定・意図、推察・確信を表す表現を用いた友だちの予定を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○予定・意図、推察・確信を表す定型表現や希望・期待を表す表現などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program 10、Paragraph Writing (5時間)	・In My Opinion, School-age Children Are Not Ready… ・What Is Your Dream?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○主張・賛成・反対を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。 ○パラグラフの作り方に関心をもつ。	○主張・賛成・反対を表す表現を用いて、自分のことをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○動物実験に対する、自分の考えを書くことができる。 ○自分自身の「将来の夢」を考えて、内容マップ、フローチャートを作成し、パラグラフを書くことができる。	○主張・賛成・反対を表す表現を用いて、自分のことを書く。	○主張・賛成・反対を表す表現を用いて、自分のことを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○相手の主張・賛成・反対を英語で理解することができる。	○主張・賛成・反対を表す表現を用いた友だちの文を理解する。	○主張・賛成・反対を表す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○主張・賛成・反対を表す表現などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Program 11～12 (4時間)	・Across from the Department Store ・It Sometimes Happens in Wintertime	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いて身の回りのことをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○自分の町の市役所や学校などがどこにあるか、英語で説明することができる。 ○自分がふだん，どのくらいの頻度と時間の運動をするのか、発表することができる。	○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いて、身の回りのことを書く。	○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いて身の回りのことを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○場所・方向、数量・頻度・割合について英語で理解できる。	○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いた友だちの文を理解する。	○場所・方向、数量・頻度・割合を表す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○場所・方向、数量・頻度・割合を表す定型表現などを用いた英文について理解を深める。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

Lsson13 ～ 15 （6時間）	・Two Libraries in This City ・ I Was So Depressed about My English that… ・Here Is a Way to Make the Most Popular Food	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いて英語で自主的に述べようとする。	○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いて、自分のことをペアで伝え合う。	○ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	○ペアでの言語活動を観察する。 ○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		○日本と中国を比較して，日本の特徴を書くことができる。 ○自分のこれまでの英語学習歴とその成果について書くことができる。 ○スマートフォンで写真を撮り、その写真をメールで友達に送る方法を英語で説明することができる。	○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いて、自分のことを書く。	○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いて、自分のことを書くことができる。	○ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序について英語で理解できる。	○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いた友だちの文を理解する。	○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序を表す表現を用いた友だちの文を理解することができる。	○定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		○比較・対照、程度・結果、列挙・時間的順序の表現について知る。	○本文で用いられている意味や用法を理解する。	○本文で用いられている意味や用法を理解することができる。	○言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。